

物理学系 VTuber の表話、裏話

北川俊作 (京都大学大学院理学研究科 kitagawa.shunsaku.8u@kyoto-u.ac.jp)

1. はじめに

研究者にとって、研究活動と同様に、研究成果を社会に広く還元する活動や、科学の楽しさを普及する活動の一環としてのアウトリーチ活動も重要です。アウトリーチ活動といえば、対面での市民講座や出前授業、プレスリリースなどが主たる方法ですが、最近では、YouTube などの動画投稿、生配信プラットフォームを用いた活動も活発に行われるようになってきています。私たちも研究の傍ら、2018 年 6 月から研究室非公式のバーチャル YouTuber (VTuber) 固体量子 (こたいりょうこ) (図 1) によるアウトリーチ活動を行っています。ありがたいことに、2021 年 7 月現在、登録者数 1.48 万人、総再生回数 90 万回を超え、物理学関係者の方にも認知して頂けるくらいになってきました。

今回、物理系 VTuber の活動に関して記事を書く機会を与えていただきましたので、活動を始めた経緯や活動内容、苦労した点などを裏話を交えながらざっくりと紹介したいと思います。YouTube を使ってアウトリーチ活動をされる方は今後どんどん増えていくと思いますので、本記事が活動のきっかけになれば幸いです。

2. 活動内容

活動内容の紹介の前に、まず VTuber について簡単に説明します。VTuber とは、アニメにでてくるような、バーチャルなキャラクターによる動画投稿者のことを指しています。キャラクターを用いることで視聴者に親しみを与える効果があり、2017 年以降、10,000 人を超える VTuber によってさまざまな動画投稿・配信が行われています。その中でも特に、学術的な内容を投稿する VTuber は学術系 VTuber と呼ばれ、100 人を超える方が活動されています。物理学会誌をお読みの方には、「予備校のノリで学ぶ「大学の数学・物理」」(通称ヨビノリ) チャンネルのバーチャルキャラクター版というわかりやすいかもしれません。

「固体量子」チャンネルでは、京都大学固体量子物性研究室非公式の VTuber 固体量子によって、主に、磁性や超伝導に関する最新の研究の紹介や、論文の読み方やプレゼンのコツなど研究に関連したもの、研究室メンバーが著者の論文紹介、固体物理の講義などの動画を投稿しています。チャンネル開設当時は専門的な話に特化していましたが、最近では、より多くの人に興味を持ってもらうために、一般のニュースでも話題になるノーベル物理学賞や SI 基本単位の再定義、量子コンピューターによる量子超越などの解説動



図 1: 物理学系バーチャル YouTuber 固体量子。研究室HPより。

画や、超伝導体や磁石を使った実験動画の投稿も行っています。日本物理学会 70 周年記念企画の「物理学 70 の不思議」の内容を簡単に解説する動画も投稿したりしています。また、YouTube の動画投稿だけにとどまらず、超伝導をより身近に感じてもらうための「超伝導カードゲーム」をクラウドファンディングで製作したり、講談社ブルーバックスウェブサイトにて記事の執筆をしたりもしています。

3. VTuber をはじめた経緯

私たちが VTuber をはじめたきっかけは、単純に「やったら面白そう!」と思ったからです。活動を始めた 2018 年前半は、VTuber ブームが始まったところで、エンタメ動画を投稿する人やゲーム実況をする人、学術解説をする人など様々なジャンルの VTuber が次々に誕生していました。研究室広報の新しい形を模索していた私たちは、学生に興味をもってもらえそうな、この VTuber ブームにのるのもありなんじゃないかと思い、動画投稿を始めました。VTuber として活動するうえで準備するものはそれほど多くなく、アバター、声、動画編集ソフト、そして話の内容くらいのものでした。準備期間は 1~2 週間程度だったと思います。アバターも声も動画編集ソフトも無料で試せるものがあるので、VTuber を始めたい方はぜひチャレンジしてみてください。相談にものりますよ。ちなみに、VTuber でなく普通の YouTuber になるのなら、Zoom の録画機能を使うと、簡単に講義動画が作成できるので、皆さんも気軽にやってみてください。

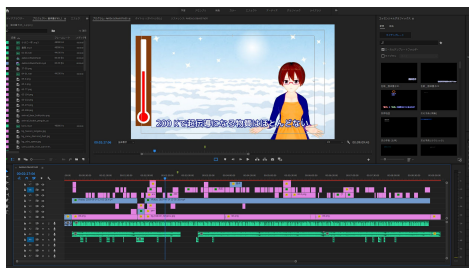


図 2: 動画の編集風景. 準備した素材を切り貼りして動画にしていく。

4. チャンネル運営での苦労, 気を付けている点

動画投稿を続けるうえで気を付けている点は両立です。まず、研究との両立です。VTuber を始めた時は、週 1 本ペースで動画投稿をする予定でしたが、なんだかんだあって 3 年間で 385 本もの動画を投稿しました。換算すると、ほぼ週 2.5 本ペースです。自分でも投稿しすぎだと思ってます。あまりに動画を投稿しすぎて、「動画投稿ばかりして、研究さぼって遊んでんちゃうか？」って思われてるんじゃないかと心配なので、研究に支障が出ないよう心がけています。動画編集は基本的に仕事が終わって家に帰ってからやります。

なので、プライベートとの両立にも気を付けています。動画を 1 本作るためには、典型的には動画用スライド作成 2～5 時間、台詞書き出し 30 分、音声収録 30 分、映像収録 30 分、動画編集 3～6 時間の合計 8 時間くらいの時間が必要です(図 2)。かといって他のプライベートな時間をおろそかにするわけにはいかないので、隙間時間をうまく見つけて作業を進めています。冷静に考えるとかなり大変ですが、動画作成が楽しいので続けられてるのかなと思います。

また、非公式ながら研究室の看板を掲げて VTuber をしているので、研究室の評判を落とすわけにはいきません。ただ、当たり障りのない動画ばかり作っていても視聴者も製作者も面白くありません。その両立にも苦労しています。これまでに、ベイブレードやビーダマンと超伝導、磁石を組み合わせたホビー動画や、漫才風超伝導体紹介動画など一風変わった動画にもチャレンジしていますが、今のところ評判は上々です。

最後に、これは VTuber ならではの苦労だと思いますが、バーチャル空間とリアル空間の両立にも気を使っているといえるかもしれません。リアル空間での動画製作者を隠してるわけではないですが、せっかくの VTuber なので、あまり現実世界とリンクすると学生の皆さんの夢が壊れてしまうかと思い、大々的に公表することも避けています。その分、周りの人が色々配慮してくださったり、声をかけて頂くときに、窓口がわかりにくかったりと、ご苦勞をかけてるかと思います。

5. 周囲の反響

VTuber を始めた当初は、勝手に研究室非公式 VTuber を名乗っていたので、怒られるかとも思い、研究室メンバー、特にスタッフメンバーには内緒で活動をしていました。YouTube をよく見る学生はともかく、スタッフメンバーは気付かないだろうと思っていたんですが、後から聞いたところ、早い段階でバレてみたいです。研究室メンバーには意外と好評で、研究室ホームページのリニューアルの際に、メンバーリストに固体量子氏も加えてはどうかという提案までしていただきました。実際にメンバーリストに個人ページまでつくってもらって、今では研究室のメンバーの一員として非公式に活動を続けています。

研究室外の人たちからも、VTuber を始めたはやい段階から(やってると言ったわけでもないのに)たくさんの好意的なリアクションをいただきました。今はオンラインになってしまいましたが、研究会や日本物理学会に行って、「面白いことしてるね」や、「○○の動画も楽しみにしてるよ」などのコメントを貰うたびに、意外と認知されるんだなと実感しています。また、学生から「固体量子さんの動画を見て勉強しました」と言われたときは、とても嬉しく、動画を作って良かったなと思います。

6. 今後の展望

面白いと思ったことをやるというスタイルでこれまで続けてきたので、今後の展望についてはあまり考えていませんが、せっかく始めた VTuber 活動なので、今後も無理のない範囲で長くゆるゆると続けていきたいなと思っています。これからも最新の研究成果の紹介や講義動画に限らず、色々なことにチャレンジしていきたいです。

また、せっかくなので物理学会員の皆さんともなにか面白いことをしたいなとも思ってます。興味がある方は是非声をかけてください。

7. おわりに

誰でも簡単に動画が作成できるツールの普及と、コロナ禍における非対面でのコミュニケーション需要の高まりによって、学術系 YouTuber, VTuber になる人は急激に増えていっています。今後もオンラインでのアウトリーチ活動の需要は高まる一方ですので、この機会に皆さんもぜひ YouTuber になってみてはどうでしょうか。動画作成、投稿はハードルが高いように見えますが、意外と簡単にできますよ。

(2021 年 7 月 16 日原稿受付)